

品川区教育委員会会議記録

平成 24 年 第 16 回 定例会

場 所 教育委員室
期 日 平成 24 年 11 月 13 日
開 会 午後 1 時 00 分
閉 会 午後 4 時 45 分

出席委員	委 員 長	市川 信之助
	委員長職務代理者	鈴木 敏夫
	委 員	安尾 久子
	委 員	波多野 美佳
欠席委員	教 育 長	若月 秀夫

出席職員	教 育 次 長	田村 信二
	庶 務 課 長	齋藤 信彦
	学 務 課 長	和氣 正典
	指 導 課 長	太田 元
	品川図書館長	中元 康子

議事運営 および 委員長、教育 長報告事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 署名委員に鈴木委員、波多野委員を指名。 ・ 日程第2 報告事項6「都費教職員の任免等に関する内申について」は品川区教育委員会会議規則第16条の規定に基づき非公開の会議とする。
---------------------------------	--

件名	日程第1 協議事項 平成25年度予算編成について
担当課説明等	(庶務課長) <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算の査定前の原案であり、また、区議会の審議・議決前の案件であるため、公正かつ適正な意思決定を確保する観点から非公開の会議としたい。
委員質疑要旨	
事務局説明	
委員意見要旨	
議事結果	非公開の会議とする。

<p>件名</p>	<p>日程第2 報告事項1 平成24年度前期一般監査の結果について</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>(庶務課長) ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>(委員E) ・ 指導課への監査結果に、「1件予定価格10万円以上の随意契約については、2者以上から見積書を徴すること」とされているが、1者のみから見積書により契約が締結されている事例がある。これは、事務執行にあたり、2者以上から見積書を徴することを承知の上で行った処理なのか。</p> <p>(委員C) ・ 契約を行う際、数者から見積書を徴することがあると思うが、最低価格で落札した業者で不具合が生じたことはあるか。</p> <p>(委員E) ・ どのような業者が区に見積書を提出でき、契約行為を行えるのか。</p> <p>(委員A) ・ 学務課への監査結果に、プール消毒薬品を追加購入したことが指摘されているが、これは、プール消毒薬品を必要以上に使用したことによるものか。それとも、当初の算出に誤りがあったのか。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>(庶務課長) ・ 「1件予定価格10万円以上の随意契約については、2者以上から見積書を徴すること」とされているが、1者のみから見積書しか徴しなかったのは、担当者が通知の存在を認識していなかったことによるものである。今後、当該通知に則り契約事務の適切な執行に努める。</p> <p>・ 契約を行う際、数者から見積書を徴し、最低価格で落札した業者と契約を行うが、納品や仕上がり等に不具合があれば検査不適合として修正等させなければならないため、原則、不具合や失敗等は発生していない。</p> <p>・ 区には業者登録の制度があり、経営状況や税金の未納の有無等、一定条件を満たした業者が都へ業者登録でき、それを介して区と契約行為を行うことができる。</p> <p>(学務課長) ・ プール消毒薬品について、必要数の調査を学校に行っているが、在庫の中に使用期限が経過しているものがあり、使用が困難なため追加購入したことによるものである。来年度より、契約方法を改めて単価契約とする。</p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>特になし</p>
<p>議事結果</p>	<p>了承</p>

件名	日程第2 報告事項2 平成24年秋の叙勲受章者について
担当課説明等	(庶務課長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承

件名	日程第2 報告事項3 子ども文化財散策ツアー（新規）の実施について
担当課説明等	(庶務課長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	(委員C) ・ 文化財散策ツアーは新しい取り組みのため工夫されたと思うが、子ども達の興味や反応等はどうであったか。 (委員E) ・ 今回の参加者は、全すまいるスクール児童数のうちの19名か。
事務局説明	(庶務課長) ・ 子ども達は、お寺の見学や宗派の話等、普段体験できないことに大変興味を持っており、喜んでもらったと感じた。今回は、土曜日の午後に開催したこともあり、その時間帯に参加しやすいすまいるスクールの子ども達に声をかけた。初めての実施であり、これをモデルとして子ども達が文化財に興味を持てるよう事業を拡大していきたい。 ・ すまいるスクール全体では約120名～130名いるが、そのうちの19名であり、今回は4年生～6年生を対象とした。
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承

<p>件名</p>	<p>日程第2 報告事項4 平成25年度入学希望申請の状況について</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>(学務課長) ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>(委員C) ・ 浜川中学校の希望申請者は昨年度に比べ減少しているが、減少した原因はどういったことが考えられるか。</p> <p>(委員A) ・ 浜川中学校の希望申請者の減少について、学校自体に何か問題があるわけではないのか。</p> <p>(委員E) ・ 伊藤学園の希望申請者は減少しているが、減少している理由に私立学校に通うということもあるのか。</p> <p>(委員C) ・ 小学校においては抽選校になる学校が多くなったと感じる。住民基本台帳の予定数の変動も要因と考えられるが、他にどういったことが影響していると考えられるか。</p> <p>(委員E) ・ 中延小学校は希望申請者が非常に少ないが、これについてどう考えるか。</p> <p>(委員C) ・ 第一日野小学校の入学予定者数は76名だが、この人数から減少することはあるか。また、私立学校を希望することはあるのか。</p> <p>(委員B) ・ 入学希望申請の状況について、最終的な人数確定はいつわかるのか。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>(学務課長) ・ 一時期、鈴ヶ森中学校に問題行動を起こす生徒が多かったことにより、それを危惧した生徒が浜川中学校に流れてくる傾向があった。しかし、現在はそれが解決されたことにより、浜川中学校の希望申請者が減少したと考えられる。また、品川学園の希望申請状況を様子見していた生徒が浜川中学校に流れていたが、現在、その傾向がなくなったことも原因と考えられる。</p> <p>・ 浜川中学校の希望申請者の減少について、教育委員会事務局としては、浜川中学校に問題があるとは考えていない。学校長も落胆しており、鈴ヶ森中学校に生徒が流れている影響が大きいと考える。</p> <p>・ 伊藤学園は、昨年度と比較して、希望申請者が小学校は38名、中学校は54名減少している。現時点の入学希望申請の状況のため確定ではないが、約3割近くが私立学校に通う傾向がある。</p> <p>・ 小学校の抽選校は増加しており、住民基本台帳の予定数の変動の他に、35人学級となったことが大きな要因ではないかと考える。</p> <p>・ 中延小学校は、住民基本台帳の予定数は増加したが、希望者が伸び悩んでいるのが現状である。現在、保育園との連携も行っているが、小規模の学校は昔から避けられている傾向が強くなっている。</p> <p>・ 第一日野小学校においても、私立学校を希望する生徒が若干出てくる</p>

	<p>と考える。しかし、学区域外、特に荏原地区から入学を希望する生徒の可能性があるので、現時点の人数より増加すると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 入学希望申請の確定状況は、小学校においては年明けの1月頃、中学校においては2月頃に確定する。
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承

件名	日程第2 報告事項5 平成24年度小・中学校移動教室実施結果について
担当課説明等	(学務課長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	(委員A) ・ 宿泊先に農家民泊とあるが、子ども達は各農家にバラバラに宿泊するのか。 (委員B) ・ 2名～3名程度のグループであると、何戸程度の宿泊先が必要となるのか。また、どのような体験を行うのか。 (委員C) ・ 農家民泊の場合、経費はどれくらいかかるのか。
事務局説明	(学務課長) ・ 農家民泊については、2名～3名程度のグループを組み、家庭的な雰囲気の中で各農家に宿泊する。農家の方は、このような宿泊体験に非常に慣れており、町や村おこしの一環として取り組んでいるとのことである。 ・ 2名～3名程度のグループで宿泊すると、約30戸、およそ村全体の戸数が必要となる。農家の規模によっては、5名程度のグループにする場合もある。体験としては、農作業の手伝い等、その時期にあった手伝いを行う。 ・ 農家民泊の場合は、農家の方へ一人当たり1万円以上の支払いとなり、ホテルに宿泊する場合よりも費用が高くなってしまふことがある。
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承

件名	日程第2 報告事項6 都費教職員の任免等に関する内申について
担当課説明等	
委員質疑要旨	
事務局説明	
委員意見要旨	
議事結果	品川区教育委員会会議規則第16条の規定に基づき非公開の会議とする。

件名	日程第2 報告事項7 平成24年特別区人事委員会勧告について
担当課説明等	(指導課長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	(委員B) ・ 人事委員会勧告は、幼稚園教諭のみが該当するのか。 ・ 今回の資料は、特別区の人事委員会勧告であるが、都の勧告内容は公表されていないのか。
事務局説明	(教育次長) ・ 特別区の人事委員会勧告の内容に影響されるのは、幼稚園教諭のみである。区固有教員は、都の給料表を準用しているため、都の教育職員との均衡を考慮して改定等を行うこととなる。 (庶務課長) ・ 今回は、特別区の人事委員会勧告のみの資料であるが、都も同時期に勧告内容を公表している。
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承

<p>件名</p>	<p>日程第2 報告事項8 平成25年度品川区立学校教育職員（区固有教員）採用候補者選考の結果について</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>（指導課長） ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>（委員E） ・ 内定者5名のうち、男女の内訳はどうなっているか。</p> <p>（委員B） ・ 内定者5名のうち、年齢の内訳はどうなっているか。</p> <p>（委員C） ・ 資料は10月22日現在の内定者状況であるが、現在の状況に変わりはないのか。また、辞退者1名はどここの自治体に採用されたのか。</p> <p>（委員A） ・ 内定者3名は経験者とのことだが、どのような経歴か。</p> <p>（委員B） ・ 平成25年度の現時点での内定者を含めると、区固有教員は合計何名となるのか。</p> <p>（委員A） ・ 内定者の最終的な確定はいつになるのか。また、他の自治体の最終確定はいつになるのか。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>（指導課長） ・ 内定者5名の内訳は、経験者3名が女性、一般2名が男性となっている。また、辞退者1名は、一般の男性であった。 ・ 内定者5名の年齢の内訳は、経験者の女性は39歳、37歳、25歳であり、一般の男性は23歳、22歳である。 ・ 現時点で5名の内定者のうち、数名は辞退する可能性があるが確定ではない。また、辞退者1名は、神奈川県相模原市に採用されることとなった。 ・ 経験者3名の女性は、他自治体の正規職員、私立学校の常勤講師、公立学校の非常勤講師という経歴を持っている。 ・ 現在、区固有教員は12名おり、平成25年度の現時点5名の内定者を加えると合計17名となる。 ・ 他の自治体も採用日程は終了しており、あとは、他自治体の内定が出ている内定者が、どの自治体を選択するかを待つ状況である。</p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>特になし</p>
<p>議事結果</p>	<p>了承</p>

件名	日程第3 その他 平成24年12月の行事予定について
担当課説明等	(庶務課長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承